

第2回境港市男女共同参画推進審議会 会議録

次 第

- 日 時：平成25年 3月27日（水） 14：00～15：40
- 場 所：境港市役所 第1会議室
- 日 程

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

- (1) 境港市男女共同参画推進計画の改定概要について（資料9）
- (2) 境港市男女共同参画に関する市民意識調査の調査結果について（資料10）
- (3) 境港市男女共同参画推進計画改定スケジュールについて（資料11）
- (4) 境港市男女共同参画推進条例パンフレットについて（資料12、13）
- (5) その他

4 そ の 他

次回日程について

5 閉 会

■出席者（敬称略）

高木 敏行、岩間 悦子、渡部 斗支子、荒井 祐二、金津 唯可
大西 孝弘、戸田 隆久、松本 町子、入江 和行 （9人）

■欠席者（敬称略）

盛山 啓二（1人）

■ 会議録（要旨）

1 開会（柏木地域振興課長）

2 会長あいさつ（高木会長）

3 議 事

（1）境港市男女共同参画推進計画の改定概要について

＜事務局・吉田人権政策室長＞ 資料9を説明

（2）境港市男女共同参画に関する市民意識調査の調査結果について

＜事務局・吉田人権政策室長＞ 資料10を説明

＜荒井委員＞

・アンケートは個人向けのもので、回収率は40%程度。

これが社会全体を反映しているものではない。

・各種団体の役職の男女比率がどうなっているか男女比率を調べた方がよい。

・女性が社会進出していないと言われるけど、ふれあいの家や公民館活動など、女性の方が一生懸命活動している。

女性が冷遇されているような感じで受け取られているが、現実的には女性はがんばっている。女性進出は進んでいる。こういったことを取り上げる手法が必要である。

全体的な視点も必要だし、新たな視点として女性進出の状況を調べる必要もある。

＜大西委員＞

・地域でかんばっている女性をモデルとして情報提供する取組みなど、紹介してあげれば、「自分でもできるのだ」と具体的なイメージを市民が理解できるので、そのような取組みもある。荒井委員と同じ考えである。

・全体構成案について、市民の意識調査、国県の計画から見直すというこのような方向性でよいと思う。ひとつ施策の基本的方向で分かりにくいところがある。「心温まる意識づくり」で、④～⑥の内容がダブっていて分かりにくいと推測される。言いたいことは、男女共同参画という言葉に収れんされるのだろうけど、分かりやすくするために統合した方がよい。

＜事務局・柏木地域振興課長＞

・計画の内容を検討するとともに、市報を使ってモデルケースの紹介なども考えてみたい。

＜金津委員＞

・男女共同参画というと、男女平等の社会との違いが分からなかった。

男女がそれぞれ良いところがある。男女がまったく同じことをするのではなく、男女がそれぞれ良いところを出し合えばよい。

- ・文書で男女共同参画と書くと難しい感じがする。身近で誰でも関わりがあることを分かりやすく表現しないと、自分には関係ないことだと思ってしまう。男女共同参画が進んでいないのは、自分と無関係と思ってしまうからではないのか。
- ・市報のコーナーを拡大してはどうか。たまには特集号を組むとか。市民に身近なものとして工夫してほしい。

<岩間委員>

- ・調査の分析もうまくできている。

昨年11月頃に、依頼があって小学校で男女共同参画の学習をした。

感想文を見たら、3分の1の生徒が知っていると言っていた。はじめて聞いた子どもは、家に帰って、お父さんやお母さんに授業のことを話すと言っていた。

小学校の頃から、早い段階で「男女共同参画」という言葉をインプットすることが重要だと感じた。教育の中で取り組んでいただけたらと思う。

先生の中にも、初めて知ったという先生もいた。

- ・事業所で、モデル的な活動をしていることを紹介したらよいと思う。

<松本委員>

- ・アンケートは無作為抽出したわりには、20代、30代の回答率が低いのが、事務局としてはどのように受け止めているのか。

<事務局・吉田人権政策室長>

→年齢別、地区別、町別で抽出し実施した。

他部署で実施したアンケートにおいても、60代以上の方はたくさん協力してもらえる。今回と同様の傾向が見られた。

どの年代でも30%以上は回答してもらえたことは、よくご協力いただけたと思っている。

<渡辺委員>

- ・よいまとめ方がしてあると感じた。

20代、30代の回答率が低いのが、自由回答の代表的な意見のところ、個別の文書で回答されている。こういう意見もあるのだと感じさせられた。若い方でも、きちんと回答してくれる人は意識してくれているのだなと感じた。

<荒井委員>

- ・アンケートで、20代～50代の現役世代は社会参加しているが、60代で定年してしまうと、男性は社会参加しなくなる。男性と女性の社会進出の比率が逆転する。一律に男女共同参画の視点でやってしまうと間違ってしまう。高齢者福祉計画でも、逆に男性が出てこなくて、どうしようかといった問題もある。そういったことも考慮して計画を策定する必要がある。

<岩間委員>

- ・「女と男のいきいきプラン」のサブタイトルを、新しい計画だから変更した方がよいのではないか。
- ・他市では「消防団への女性の参画」が記載されているが、他市でどの程度女性の参画ができたか聞いてみたい。計画に記載してあるけど難しい面がある。実施できる計画がよいのではないか。

<事務局・柏木地域振興課長>

- ・防災計画を策定する上で女性の視点を取り入れるということが大きな点であることをご理解いただきたい。あわせて消防団への女性の参画ということにも力を入れていきたい。

(3) 境港市男女共同参画推進計画改定スケジュールについて

<事務局・吉田人権政策室長> 資料11を説明

(4) 境港市男女共同参画推進条例パンフレットについて

<事務局・吉田人権政策室長> 資料12、資料13を説明

<戸田委員>

- ・子ども用のパンフレットは配っておしまいかな。
- ・せっかく良いものができたので、学校の授業で積極的に活用してほしい。

<事務局・吉田人権政策室長>

→活用の方法については、各学校に任せている。こちらが出向いてというところまでは考えていない。人権教育はいろんな取組みの中で指導をされているので、学校のいいタイミングで活用をお願いしている。一律に、このように活用してほしいという予定はない。

<岩間委員>

- ・せっかく良いパンフレットができたので、適当に使ってではなく、積極的に活用してもらおうよう学校に依頼してほしい。

<事務局・柏木地域振興課長>

→お願いしてみます。

<高木会長>

- ・「女と男のいきいきプラン」の名称変更の提案が岩間委員からあったが、委員の皆さんの意見はどうか？

<荒井委員>

- ・「女と男のいきいきプラン」より、いいものがあれば。岩間委員さんに考えてみてもらえればよいのでは。

<松本委員>

- ・「女と男のいきいきプラン」の名称は大変良いと思う。
パンフレットも「女と男」でいこうと考えていたのではないか。
今これから、周知していこうといところでもあり、このままでよいと思う。

<事務局・吉田人権政策室長>

→「女と男のいきいきプラン」は悪くないと思っている。10年かけて数パーセントの認知度である。認知度も低く、これから周知して認知度を上げていく必要があるので、このままで行くつもりでした。

<高木会長>

- ・今回は、新しいパンフレットもできたのだから「女と男のいきいきプラン」でいきましょう。

<松本委員>

- ・市も良いネーミングだと思っているはずである。私も良いネーミングだと思っている。ここで変更するのはもったいない。これから浸透させていく必要があるのではないか。

<入江委員>

- ・「女と男」を、「ひととひと」と読ませたことは、すごく狙いがあったのではないか。

大変いいと思う。男と女しかいないのだから、そこを変えてみてもどうしようもない。
更に「男子と女子」と出てきたのはすごく良いと思う。

<会長>

- ・この件はこれで終わります。

<入江委員>

- ・男女共同参画の認定企業である。建設業であるが、男女共同参画をどう意識していくのか、普段からどうあるべきか。仕事の中で、男女がまったく平等というのは難しい。
- ・男女共同参画を世の中に早く出して、「こういうことをしようとしている」ことを周知していく必要がある。
- ・条例ができあがったが、この会議に関わっていない人達にとっては、難しいことを言っても分からない。
- ・世の中に周知することが大切である。

4 その他

<事務局・吉田人権政策室長>

- ・いただいた意見を参考に計画の本文を作っていく。
本日言い足りないことがありましたら、4月3日頃までに文書で事務局まで送ってほしい。
- ・次回の日程は、作業の状況にもよるが、5月の下旬を予定している。

<大西委員>

- ・よりん彩が作成したパンフレット「参画社会はスマイル社会」は、4コマ漫画で男女共同参画を分かりやすく紹介しているので活用してほしい。

<事務局・柏木地域振興課長>

- ・4月の人事異動で吉田室長が異動になる。後任は総務課の手島であるのでよろしくお願ひします。

以 上